

CELERY

セロリ

2010
No.74

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌



**栄養クリニック見学会
中国人民大学から現地レポート
第43回霜月祭**



Welcome to Our Seminar
わがゼミ案内

WAGAZEMI DATA

短期大学部 食物栄養学科
吉田ゼミ

2年生女子4名

よしだ ひろこ
吉田 弘子 先生

◎プロフィール

中村学国大学大学院栄養科学研究科修了、九州大学大学院農学研究科博士後期課程修了。研究テーマは「生活習慣病改善のための植物性食品を用いた食品構成の検討」。

「肉を使わないから揚げ」って いったいなんだろう!?

「植物性食品」のみを用いた献立を調理・試食し、
生活習慣病予防・改善のための食事について考える



吉田ゼミでは、2年の前学期を使って調理実習中心の授業が行われています。調理実習のテーマは「植物性食品を用いた献立の検討」。食材として肉や魚、牛乳や卵などを一切使わない、通常とは一風変わった献立に、学生たちは興味津々です。

今期のゼミで吉田弘子先生が取り上げたのは、5種類の献立と2種類のお菓子です。「特に、鶏のから揚げと白身魚のフライが美味しかった」と、学生たちは振り返ります。「植物性食品」とは、野菜や果物、穀物や豆類などです。「鶏のから揚げ」「白身魚のフライ」では、話が違うのでは?との疑問が湧いてくるのですが、例えば、「鶏のから揚げ」は、大豆たんぱくを肉のように加工したものを使用したから揚げ、「白身魚のフライ」は、雑穀、山芋、のりを使い、食感と見た目を白身魚風にした揚げ物のこと。全て植物性の食材で、食感や風味を似せて作られているのです。「肉や魚がなくても、味も量も満足できる献立が作成できることを知ってもらいたい」と、吉田先生は話します。



て植物性食品を試食することで「一般の人が食べても美味しいものかどうか」の調査にも繋がっているのです。

「美味しくて、おなか一杯になる献立ばかりだったので驚きでした」「少量の塩を用いて加熱する、乾物の戻し汁でじっくり煮込むなど、素材の甘味の引き出し方がとても勉強になりました」と、学生たち。ゼミを終えて、調理方法の幅が広がったようです。

また、今期は少人数だったため、先生と学生たちの距離が大変近いゼミだったそう。学生たちは夏休みに、実際の保育所、病院等での実習がありますが、病院で管理栄養士として活躍してきた吉田先生からの「大丈夫、大丈夫!」という励ましでもとても安心できたといいます。

「ゼミでは、学生たちが今までは知らなかった調理法や食材を沢山見せました。学生たちには、この経験や学科での勉強を活かしてもっと色々な事を体験し、知識を増やして欲しい。食べる人に合わせ「こういう料理を出したい!」と、自分の考えを持って食事を提供できる人になって欲しいです」と、吉田先生。熱心に先生の言葉にうなずく学生たちは、これから

うん〜(共感)
(吉田先生の口癖)

植物性食品料理のおいしさにビックリです!





CONTENTS

わがゼミ案内	01
短期大学部 食物栄養学科 吉田弘子ゼミ	
栄養クリニック見学会	03
中国人民大学から現地レポート	04
釜山大学校と学術交流協定を締結～流通科学部～	
第43回霜月祭	05
寮生20名が市長と懇談会	07
お見事!! 2ラウンドTKO 勝利!! ～ボクシング～	
短期大学部食物栄養学科 黒木優子さん	
社会で活躍する卒業生インタビュー	08
がんにならないために	09
栄養科学部 中野修治教授	
平成22年度入試結果	10
EVENT & NEWS	11
■ 学内の行事 ■ 研究助成・受託研究等採択状況 ■ 教員表彰 ■ 教員の出版物	

CELERY
中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌

2010 No. **74**

中村学園大学は財団法人大学基準協会の大学評価（認証評価）に申請し、2008（平成20）年3月、同協会の定める大学基準に適合しているとの認定を受けました。



患者を支える管理栄養士を目指して

学生の意識を変えた見学会



栄養クリニック 院長

中野 修治

Shuji Nakano



栄養指導の現場にふれる

平成21年11、12月にかけて、栄養科学部3年生が、学内の「栄養クリニック」で管理栄養士による個人栄養指導の現場を見学しました。大学の栄養科学部としては全国初の試みという見学会を取材しました。

見学場所は、平成20年12月に新設された医療施設「栄養クリニック」。こちらでは、福岡市内の医療機関からの紹介患者を対象に、栄養学専門の大学としてより踏み込んだ栄養支援を軸にした保健診療を行っています。現在、医師4名と管理栄養士22名態勢で、問診に十分な時間をかけて一人ひとりの患者の実状に即したきめ細やかな栄養指導を行っています。

今回の見学会は、当クリニックに実際に来院中の患者さんにボランティアでの協力をお願いして実現しました。学生たちは5つのグループに分かれて、それぞれ管理栄養士の先生が個別に栄養指導を行う栄養支援室に入室して見学。初めて、栄養指導の現

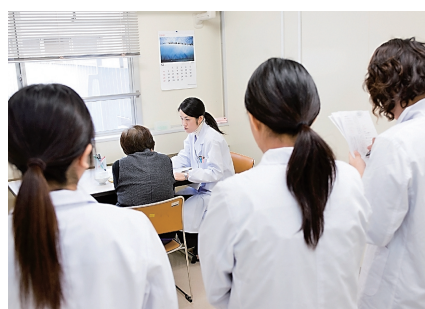
管理栄養士の役割とは？

場を目的の当たりにしました。

栄養支援室では、食事の内容について、患者さんとの面談を通じて情報収集が行われていました。管理栄養士からの指導は「緑黄色野菜を今の2倍にした方がいい」など具体的。万歩計やグラム式の体重計などを使いながら数値化し、患者さん自身に考えてもらうやり方で、終始和やかな指導風景でした。

見学会の後、学生たちに話を聞きました。

「くつろいで話せる言い方」「沈黙がない」「指導ではなく手伝いをする感じ」「患者さんの立場に立って話をする」「苦手なことはすすめない」「同調、うなずき、世間話。すごく和やかにコミュニケーションを取れるのが印象



的」等、指導方法にびっくりした様子。また、「2月に病院実習があるので、ごく参考になった」「今まで具体的な患者さんのイメージがなかったが、初めて管理栄養士がどう役に立っているのかわかった気がする」と、管理栄養士のやりがいを実感した様子でした。栄養クリニックの中野修治院長は「今回の見学会は、模擬患者実習、病院実習という3つのステップの第1段階。従来、医学部で行われてきた実習方法ですが、管理栄養士養成の上でも有益と考え、全国で初めて取り組みました。学生たちは、管理栄養士の役割を知り、その重要性を実感できたようです」とのこと。

先進的で充実した管理栄養士養成カリキュラムのなかで、学生たちはプロフェッショナルの意識を持って大きく成長してくれそうです。

流通科学部は、平成21年度から、「海外留学スカラーシップ制度」を新設しました。この制度は、海外の提携大学に学生を派遣し、外国語能力（英語・中国語・韓国語）を育成するものです（英語・韓国語については平成22年度以降に実施の予定）。

今年度は、流通科学部2年の馬場崇平君が派遣留学生第1号として、10月から中国人民大学で学習を行っています。
中国・北京の馬場君から現地レポートが届きましたので、紹介します。

■留学のきっかけ

もともとアジアの歴史、文化に興味があり、授業では、「アジアの文化」「アジアの経済」「中国語」を履修していました。その中で、中国留学の支援制度が始まるかも知れないということを経験先生の授業で知り、ぜひ参加したいと思いました。さらには、現在、目覚しく発展している中国での語学を勉強することや、留学生活の経験、また人脈が、将来自分のプラス要素になると考えました。

宿舎は留学生寮で一番古い棟に住んでいます。ルームメイトは韓国人の25才の本科生で、今年で中国在住4年目になる方です。中国語も堪能で、手続きや生活面で困ったときなどは、何から何まで手伝ってもらい、とても感謝しています。

■生活の様子

朝8時から11時30分までは中国語の授業を受けています。午後は週3回、家庭教師の授業を受けています。
初級クラスに参加し、最初は全く中国語を聞きとれず、あせりを感じました。しかし、1か月ほどで、授業内容を聞き取れるようになり、クラスメイトとの会話も少しずつずむようになり、中間テストの成績もなかなか良かったです。
ただ、普段なら分かっている単語でも、会話の時にとっさに浮かんでこなかったり、聞きとれなかったときはとても悔しいです。今いちばんの課題は、発音を上達させることだと思っています。

■中国語の修得状況

朝8時から11時30分までは中国語の授業を受けています。午後は週3回、家庭教師の授業を受けています。
初級クラスに参加し、最初は全く中国語を聞きとれず、あせりを感じました。しかし、1か月ほどで、授業内容を聞き取れるようになり、クラスメイトとの会話も少しずつずむようになり、中間テストの成績もなかなか良かったです。
ただ、普段なら分かっている単語でも、会話の時にとっさに浮かんでこなかったり、聞きとれなかったときはとても悔しいです。今いちばんの課題は、発音を上達させることだと思っています。

また、学校のクラスには世界各国の20歳から68歳までの人たちがいて、とても面白いです。特に仲がよいのは、ソウル大学の博士課程在籍の友だちです。また、福岡の九州産業大学の学生もいました。
買い物するとき、初めは中国の店員さんの態度を怖く感じたのですが、顔見知りになると物凄くフレンドリーで、「ジェンツ」という遊びを一緒にするほどになりました。

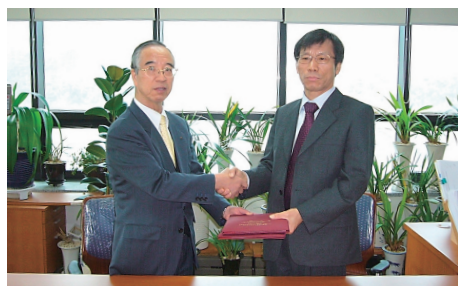
■休日には

ルームメイトと部屋の掃除や遊びに行ったり、また、クラスメイトと北京にプチ旅行にいったりしています。また、勉強の復習にあてたりもします。

「日本人留学生会」の取組みとしては、ボランティア活動や様々な催しに参加したりしています。各国が自国の催し物を披露しあう文化祭では、餅つきを体験しました。



釜山大学校と 学術交流協定を締結 ～流通科学部～



平成21年11月27日 流通科学部と韓国・釜山大学校貿易国際学部が学術交流協定を締結しました。調印式は韓国で行われ、本学の財部流通科学部長と、釜山大学校の李貿易国際学部長が協定書に署名しました。

今後は研究者間の交流や、流通科学部に新設された「海外留学スカラーシップ制度」に基く、本学学生の釜山大学校への留学などが予定されています。

釜山大学校は、韓国・釜山広域市所在の総合大学で、その教育・研究活動は高く評価されています。

付属幼稚園 園長だより



自園で作るおいしい給食

あさひ幼稚園 園長 井上 寛七

今日も元気に「いただきま〜す!」と、子ども達はお父さん、お母さん、食事の準備をしてくださった方へ感謝して楽しいお昼ごはんの時間を過ごします。

あさひ幼稚園の子ども達は、毎日、園内の厨房で調理された出来たてのおいしい給食を食べています。

「食べる」ことは子どもの健やかな心と身体を育むためには欠かせないものです。あさひ幼稚園では「楽しく食べる子ども」になるように、給食を通して食事への関心を高めています。

専任の管理栄養士と4人の厨房スタッフにより、安全へ細心の注意を払い栄養バランスに富んだ給食は、子ども達が毎日おいしく楽しく食べることができるように工夫が重ねられています。メニューは和食中心で季節の食べ物や行事食を取り入れています。毎月の誕生会にはお赤飯のお祝い膳もあります。また、食物アレルギーを持つ子ども達には、個別に食材を変えて調理することにより、メニューを変えないで皆と同じ献立の給食を楽しめるように配慮しています。

保護者の方には「給食だより」を毎週発行して、あさひ幼稚園の給食への取り組みを理解していただいています。保護者に参加していただいて「親子クッキング」などの楽しい行事も行っています。

楽しく食べることは、身体をつくり、心を安定させ健康な生活の基礎となります。一緒に食べる楽しさから身近な人との信頼感を築き、おいしい食事はその食材への関心や調理への好奇心、行事食は季節や郷土への関心と、食の世界との関わりは子ども達に大きな広がりを与えてくれます。

園庭でしっかり遊び、お腹を空かせて給食をもりもり食べ、また力いっぱい遊びます。子ども達はいつも元気いっぱいです。あさひ幼稚園の子ども達は給食が大好きです。

第43回 霜月祭

11月5～7日の3日間

中村パワーあふれる学園祭開催!!

毎年、たくさんさんの模擬店や

学生たちの歌やダンス、

作品展示、ミスキャンなど、

楽しいイベントで盛り上がる霜月祭。

今年は新企画の「のど自慢大会」や

「B級グルメ大集合」も登場して

ますます充実した内容に。

中村パワー全開のお祭りを徹底リ

ポートします。

第1回 のど自慢大会

〔野外ステージ〕

今年の新企画ののど自慢大会。エントリーした5組はいずれも実力者ぞろいで、それぞれが個性を充分に発揮。観客も続々と集まり、大いに盛り上がりました。



伸び伸びとパフォーマンス



観客も真剣!



野外ステージで熱唱

ベスト NAKA ツプル

〔野外ステージ〕

学内のカップルがラブラブ度を競う人気企画は今回も大盛り上り。



今年は5組のカップルがエントリーしました

受付・パンフレット配布

〔グラウンド〕

「学園祭のパンフレットを作りました。B級グルメはおいしいし、ステージではのど自慢などの新企画もあるし、平日なのに盛り上がってます」と受付でパンフレットを配布していた人間発達学部2年の植野円さんと流通科学部1年の小池礼乃さん。広報パートは、ペインティング、フランクフルト・フライドポテトの模擬店も出店しました。



受付も盛り上がっています。植野円さん(左)と小池礼乃さん



お祭りらしく華やかにペイント

第27回 ミスキャンパスコンテスト

〔体育館〕

毎年恒例のミスキャンパスコンテスト。今年は9名の美女たちがエントリーして、それぞれの個性と美しさを競いました。

今年の新企画は「エプロン姿と得意料理」。可愛いエプロン姿で、カレにハンバーグや肉じゃがなどの得意料理を作って上げるというシチュエーションです。「一生懸命作ったけん、たくさん食べてね」など、9人の美女たちの甘いさやきに、男性司会者は大照れ…。最終審査は定番のウエディングドレス。9人がお気に入りのドレスで登場すると、場内はためいきと歓声が飛び交いました。

今年のグランプリを獲得したのは、人間発達学部3年の坂井真理さん。「良い経験になればと思って参加しました。みんなきれいだったので、まさか私が選ばれるなんて…」と、とまどいながらもにっこり。子どもが大好きという坂井さんは

3月の保育実習をととても楽しみにしています。実習先でも、ステキなエプロン姿で活躍してくれそうですね。



エプロン姿で決めゼリフを…「食べてね!」



グランプリ 人間発達学部 坂井真理さん



9人の美女、大集合!

模 擬 店

ヘルシー米粉バーガー

(グラウンド)

人気バクハツの米粉バーガー。1個300円。「3日で1000個完売が目標ですが、ラクラク達成できそうです」と短期大学部幼児保育学科1年の内野春菜さんと鶴田奈々さん。「調理室で作っています。フードパートは屋台全体の衛生管理をしないといけないので特に気をつかいます」



愛情たっぷり！
米粉バーガーは大人気

焼きちゃんぽん

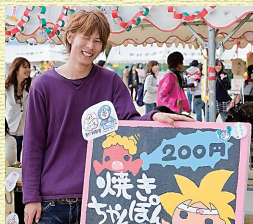
(グラウンド)

「ぜひ食べてください。美味しいんですよ！ 昨日は380食売れました。平日なのに完売です！ 3日間の目標1000食も達成できそうです」と学祭実行委員会総合製作パートの皆さん。

「僕らのパートが2-3か月かけて、メインの野外ステージの背景を作りました。みんな経験がなくて苦労したけど、いざ出来上がったものをみると感動しました。今回のテーマ“奏（かなで）”を意識して、♪を入れたデザインにしました」とパート責任者の人間発達学部2年、福井翔さん。



総合製作パートの
焼きちゃんぽん屋台



「この看板も作りました」
とパート長の福井翔さん

陶器市

(西5号館)

人間発達学部中野隆二ゼミの「陶器市」には、今年も常連さんが集まりました。「フリマや喫茶もやっています。楽しいですよ」と4年の宮嶋由布子さん。「自分で作ったものを売るので愛着がありますから、売れるとうれしい」と3年の藤井洋光さん。



今年も常連さんが集まった中野ゼミの「陶器市」。左から4年の吉村薫さん、宮嶋由布子さん、3年の藤井洋光さん



ステキな器がいっぱい！

展 示



懐かしい曲を奏でます
箏曲部 (食育館)



美しく活けられた花々
華道部 展示(食育館)

雑貨・菓子販売

(グラウンド)

「5つの福祉作業所で障がい者の皆さんが手作りした雑貨や焼き菓子などを販売しています。売り上げはそれぞれの作業所さんへ届けます」。「託児ボランティアや障がい児サポート、調理ボランティアなど、幅広く活動するサークルです」と人間発達学部3年の村上優梨部長。



おすすめのクッキーを
手にする村上優梨さん



ボランティアサークルの
みなさん

中華 炊きギョウザ、春巻

(グラウンド)

今年は留学生たちも模擬店に参加。中国からの留学生12名が手作りする炊きギョウザと春巻が人気を集めました。責任者の流通科学部4年のオウ・デンユウさんは「留学生会は今年初めての参加だからやりがいがあります」と調理室と屋台を忙しそうに往復。「充実した学生生活を送ろうと、学校行事にも積極的に参加しました。楽しいですよ」と話すのは流通学部1年のサ・タクウさん。



左から流通科学部1年の
サ・タクウさん
同2年のゴ・イルチュウさん
同1年のリュウ・キンボウさん
同2年のマン・エイさん



炊きギョウザ。300円。
皮がモチモチして美味

中村薬膳味噌カレー

(食堂)

食堂では、学園祖中村ハル先生の中村ハル式カレーを基本に、和風にアレンジした味噌カレー（500円）が人気を集めていました。



今年のカレーはやさしい味！



女子寮「晴寮」生
も元気いっぱい！



焼きちゃんぽん、
美味しいです



バスケット部はツナしめじ
とサツマイモご飯の2種類
を販売。「商品がなくなっ
たのでひと休み中」

書道部 展示

(食育館)

大きな発表の機会となる学園祭の展示。「いろんな文字体を書けるようになるのが楽しいです」と語るのは栄養科学部1年の簗原沙耶さん。「全体をどのように構成するのか考えながら作っていくのは達成感があります」と人間発達学部3年の富松美佐子さん。



富松美佐子さん(左)
と簗原沙耶さん



文字体もさまざまな力作が並ぶ

寮生20名が

市長と懇談会

市民と市長の対話事業「聞きたかけん」の一環として

平成21年11月6日、福岡市の吉田宏市長が中村学園大学学生寮「曙寮」を訪問しました。寮生20名が笑顔と拍手で出迎えると、市長は玄関でにつこり。寮の視察を終えると、終始リラックスした表情で懇談会に臨みました。

福岡はどんな街？

吉田市長を囲むように、寮生が着席して会が始まりました。テレビクルーが入ったこともあり、初めは緊張気味だった学生たちですが、次第に本領発揮。いつもの明るさで積極的に発言していました。

寮生を代表して栄養科学部4年の高本さんが「曙寮には現在121名が在寮しています。遠くは長野県など、全国各地から集まっています。共同生活は難しいこともありますが、

お互い楽しく生活しています」と寮生活を紹介すると、市長は「福岡は学生の多い街。学術研究・人材育成のためにもこの福岡を学生が過ごしやすい街にしていきたい」と話し、学生たちに「福岡はどんな街ですか」と問いかけました。

「教育を受けやすい街講演会、コンサート、いろいろな刺激がある」「福岡は食の街、食材も美味しくて安いし、お店の種類も多い」「食」について学ぶのの良い街」と学生たち。「交通手段は自転車、天神に行くにも学校へ行く

にも自転車です。自転車を使いやすい街だと思うので、もっと整備してもらえたらとの発言には、市長から「自転車のマナーアップを学生たちから盛り上げてほしい」と要望がありました。

子育て支援で要望も

なかには学校の勉強を踏まえての発言もありました。

「福岡では子育てサービスを入れていくと聞いていますが、幼児検診の内容などをもっと充実させてほしい」「子どもの遊べる場所は、児童館など、施設の数多くても老朽化していたり、あまり惹きつけるものがないように思います。私の地元には遊園地のようない設備がある施設もあります。児童館をもっと魅力的な場所にしていけるのでは」との意見に、市長も真剣にうなずきながら「子どもが遊ぶ場所については、学校で遊べる取り組みを始めているのですが」と会期中のような答弁に。

最後に、市長が「今日は参考になる話が聞けて良かった。皆さんから人生の一つの時代を過ごすのいい場所、福岡に来て良かったとこれからも思ってもらえるように、もっと頑張りたいと思います」と発言して、懇談会は終了。終始にこやかに学生たちの発言に丁寧に対応してくれた市長の姿に学生たちも感激の様子でした。



お見事!! 2ラウンド TKO 勝利!!

短期大学部食物栄養学科1年黒木優子さんのボクシングの試合が行われました

2009年12月19日、小雪が舞う中、短期大学部食物栄養学科所属で女子プロボクサーの黒木優子さんの試合が行われました。会場は福岡市九電記念体育館です。

今回は、黒木さんにとってはプロ4戦目となる試合。対戦相手は韓国在住のポーランド系カナダ人、エイミー・ベレソウスキー選手です。



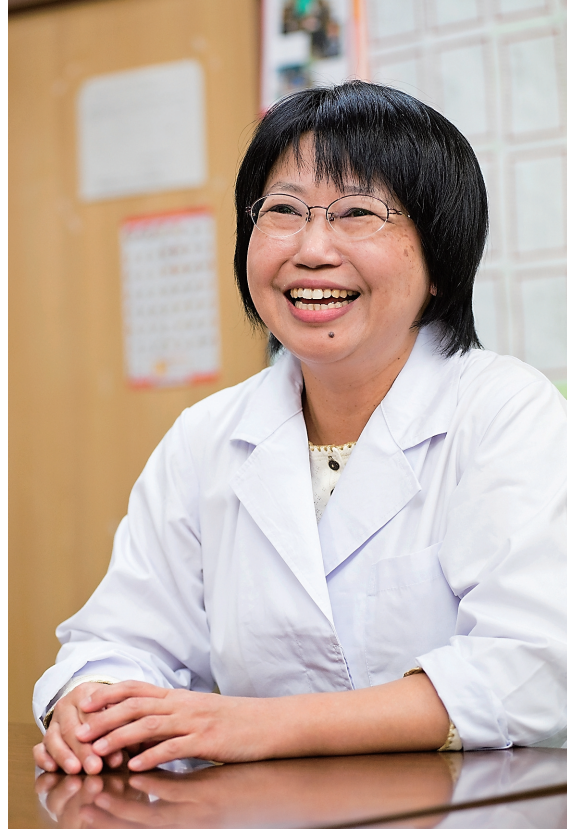
ボクシングウエアに、トレードマークの髪を編みこんだスタイルで会場内に現れた黒木さん。試合前はコーチや、応援に駆けつけた友人たちと談笑したり、ストレッチするなどリラックスした雰囲気でしたが、ふと見える視線は鋭く、特有の緊張感が張り詰めます。定刻を告げる鐘が3度鳴り、場内のBGMが変わると、いよいよ選手の登場です。試合が始まると同時に、リングサイドや応援席からは「リズム、リズム」「ファイト」と、次々に熱いゲキが飛びます。その声に応えるように序盤から積極的に攻める黒木さん。勝負は2ラウンド目、畳み掛けるような黒木さん自慢の左ストレートで決まりました。2ラウンド1分3秒で、黒木さんのTKO勝ち!嬉しいプロ2勝目を獲得です。

勝ちが決まった瞬間、リング上で所属ジムの関会長と抱き合って勝利を噛みしめる黒木さん。「今回は調整が上手くいかず、関会長にも迷惑を掛けてしまった。勝てて本当に良かった。関会長の誕生日がある月の試合では勝てず、誕生日おめでとうが言えなかった。かなり遅れてしまいましたが、誕生日おめでとうございました!」と、喜びのコメントです。「今回は勝てたけど、次も勝てるのは限らない。一戦一戦頑張っていくのでまた次も応援宜しくお願いします!」とリングをぐるりと囲む応援団にお辞儀をして、力強くリングを後にしました。現役短大生としても頑張る若き女子プロボクサーは、世界チャンピオンへの道を、一歩一歩確実に前進しているようです。

子どもたちの給食に目を配り 「食」のことをわかりやすく教える 学校給食のスペシャリスト

平成17年に設定された栄養教諭として

福岡県学校給食栄養士会会長として、食育に力をそそぐ



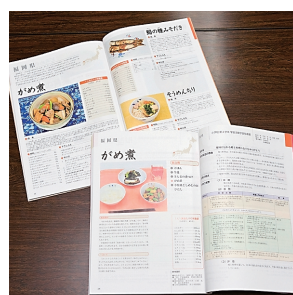
鍋藤君江さん (家政学部食物栄養学科 管理栄養士専攻 昭和57年度卒業)
福岡県田川郡 川崎町立川崎小学校 栄養教諭
(社)全国学校栄養士協議会福岡県支部長・福岡県学校給食栄養士会会長・福岡県学校給食研究協議会副会長

川崎町学校給食センターに勤務しています。私ともう1人栄養士がいて、調理担当が9名、調理兼配送担当が3名で、川崎町内の4つの小学校と3つの中学校の給食を約2000食分作っています。従来からの主な仕事は、学校給食の管理、栄養管理・衛生管理・物資管理など。さらに、全国学校栄養士協議会や福岡県学校給食栄養士会などの仕事もあります。

就職した時は「学校栄養職員」でしたが、今は「栄養教諭」。これは平成17年に国で食育基本法が制定されてできた資格で、福岡県では翌18年に採用が始まりました。職務内容は、偏食や食物アレルギー児への個別指導、学級担任と連携した子どもたちへの直接指導、他の教職員や家庭・地域と連携した「食」に関する指導のコーディネーター役があります。福岡県ではまだ公募されておらず、特別任用制度といって、学校給食の現場にいる私たちが認定講習を受講して栄養教諭免許を取り、受験して採用されます。現在、福岡県の学校給食栄養士403名のうち114名が栄養教諭として採用されています。

母校の中村学園大学ではこの年すぐに資格認定のための公開講座を開講してくれ、私は22年ぶりに大学に通いました。こうした学校としての対応だけでなく、研修で講師をお願いしたり、わからないことがあると聞いたら、何かあるとすぐに頼らせてもらっています。出身校は本当にありがたいです(笑)。

学校へ頻繁に足を運ぶと、先生方と話したり、子どもたちとも接する機会が増え、相互理解が深まったと思います。低学年の子なら「今日はたくさん食べたよ」と言ってくるので、高学年には、授業で習っていることと献立を連動させたりします。たとえば、授業で梅干しを作っている学校があれば献立にシソご飯を入れると子どもたちがすぐ気がつく。学校で勉強することと食育はつながっていることを、子どもたちが自分で発見することが大事だと思います。保護者の考え方を考えることが難しいですね。でも、子どもたちが変われば家庭も変わってきます。子どもたちが大きくなったときのために、食について正しい知識や考え方を伝えておくことは必要だと思っています。「知育・徳育・体育」の基本に「食育」があるわけですから。その意味でも、人前で話す力、プレゼンする力が私たちの仕事にはますます必要になってきています。学生のみならず、ゼミ生としての力を身につけて、社会に出てきてほしいですね。私なりのコミュニケーションのコツは、最初から断らないことです。「とにかくやってみよう!」何事もここから始めるようにしています。



就職課 コラム

今やらずにいつやる?

就職活動で大切なことは、卒業後自立するという強い意志を持って、今、できることを実行することです。行動してこそ道は開けるもの。自己を振り返り自分の魅力を見つけたら、次は業界・企業研究や採用試験情報の収集等を行い、必要な準備に着手する。取り組みが遅くなればなるほど、困難な道を歩むことになるのでは…。

“如何なる犠牲、如何なる危険を伴おうとも、すべての危険の中で最も大きな危険は、何もしないということである” (アメリカ第35代大統領 ジョン・F・ケネディーのことばより)



よく考えるクラス 最後まであきらめないクラス



がんは増加の一途をたどり、年間の死亡者数は30万人であり、三人に一人ががんで死亡するという現状です。治療法が格段に進歩したにもかかわらず2015年には45万人に達し、二人に一人はがんで死亡すると推測されています。がんの原因の約2/3以上が食物と日常生活習慣によるものと推測され、その内訳はタバコが30%、食事と肥満が30%を占めるといわれています。すなわち、がんの30%は食生活の改善

習慣をいち早くがんの予防に取り入れた結果、1992年頃をピークに、がんになる人やがんで死亡する人が減少してきています。しかし日本では減る傾向はなく、とくに欧米に多い大腸がんや乳がんが増加してきています。これは先の日系アメリカ人の例のように、日本人の食事が欧米型に近づいたためだといわれています。

このため、がんを防ぐにはまず食物の中に含まれる発がん作用やがん化促

る重要なファクターであることが示されており、日常生活において留意すべきものとして推奨されています。

がんを防ぐさまざまな食事成分が報告されています。ポリフェノールは植物に多く含まれる色素や苦味の成分で活性酸素を除去する作用があります。なかでもクルクミン（カレーのスパイスであるウコンの黄色色素）は皮膚が

30 mg 以上は推奨されないといえます。にんにくや玉ねぎに含まれるアリシンやごまに含まれているリグナンもがんを抑制する効果があるといわれています。

がんを防ぐため食事で注意すべき点をあげてみますと、胃がんを防ぐには塩分を控えること、野菜・果物は積極的に食べることです。肺がんには野菜・果物を多く取り、動物性脂肪や赤

がんにならないために

食からのアプローチ

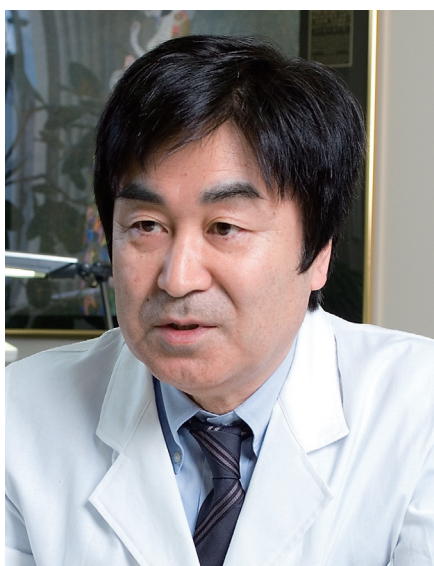
地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム講演より

（平成21年11月7日 本学にて開催 概要はP11を参照）

により予防可能といえます。がんの発生に食習慣がいかに重要かというのはアメリカに移住した日系人による研究でわかってきました。例ですが日本人女性の乳がんの頻度は22人に一人ですが、アメリカに移住した日系人では8人に一人と、欧米化した食習慣はその頻度をアメリカ人並みに上げてしまったのです。

アメリカではこのような疫学調査からがんにならないための食生活と生活

進作用のある物質を摂らないこと、ほかに、遺伝子のDNAに傷をつける活性酸素を消去する働きのある抗酸化物質、例えば植物に多く含まれるポリフェノールや酸化ビタミン（ビタミンEやCなど）を積極的にとることも重要です。また過度のエネルギー摂取による肥満を避け、適度な運動をとることも大腸がんや乳がんを確実に抑制することが報告されています。このように食事、体重、運動はがんを予防す



栄養科学部 教授
中野 修治

以上のような食事を心がけ、適正体重を維持しながら一日30分の運動を行うこと、これががんを予防する秘訣なのです。また忘れてはならないのは定期的に検診を受けて早期がんの発見に努めることです。皆様も是非このようなことを心がけていただき、人生を楽しく健やかに過ごしましょう。

ん、胃がん、大腸がん、乳がん、肝がんの発生を抑制することが報告されています。大豆に多く含まれるイソフラボンは乳がんのリスクを減少させることが知られていますが、過剰摂取は逆にがんを促進する可能性があることが動物実験で示されています。このため有益な効果をもたらす大豆イソフラボンの量は約10 mg/日（標準的な量の豆腐1食分）程度で、厚労省は一日に

平成22年度 入試結果

※競争率は、受験者数／合格者数（小数点第3位以下を四捨五入）

●中村学園大学大学院

研究科	専攻	課程	区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
栄養科学研究科	栄養科学専攻	博士前期課程	推薦	6	5	5	4	1.25
		博士前期課程	一般（1次）		5	4	4	1.00
		博士後期課程	前期	3	0	-	-	-
流通科学研究科	流通科学専攻	修士課程	推薦	10	8	8	4	2.00
			一般（1次）		3	3	3	1.00
			社会人（1次）		1	1	1	1.00
人間発達学研究科	人間発達学専攻	修士課程	推薦	5	4	4	4	1.00
			一般（1次）		0	-	-	-
			社会人（1次）		1	1	1	1.00

●中村学園大学（推薦入試）

学部・学科	専攻	区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
栄養科学部	—	公募制	64	159	159	90	1.77
栄養科学科		併設校	20以内	20	20	20	1.00
人間発達学部	幼児発達学専攻	公募制	34	102	102	58	1.76
		併設校	9以内	9	8	8	1.00
	児童発達学専攻	公募制	30	49	49	38	1.29
		併設校	5以内	5	5	5	1.00
流通科学部	—	公募制	20	67	67	40	1.68
		併設校	45以内	45	45	45	1.00
		指定校	45	70	70	70	1.00

●中村学園大学短期大学部（推薦入試）

学 科	区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
食物栄養学科	公募制	37	106	106	62	1.71
	併設校	15以内	15	15	15	1.00
	指定校	60	71	71	71	1.00
キャリア開発学科	公募制	10	45	45	29	1.55
	併設校	15以内	15	15	15	1.00
	指定校	110	127	127	127	1.00
幼児保育学科	公募制	72	136	136	97	1.40
	併設校	18以内	12	12	12	1.00
	指定校	60	70	70	70	1.00

平成22年2～3月に実施される 入学試験のお知らせ

●中村学園大学大学院 栄養科学研究科（博士前期課程）

区 分	試験日	募集人員	出願期間
第2次試験入学選考	平成22年 2月19日(金)	6名	平成22年1月25日(月) ～2月5日(金)
外国人留学生特別選考			平成22年1月6日(水) ～1月15日(金)

※募集人数：推薦・第1次試験入学選考含む

●中村学園大学大学院 栄養科学研究科（博士後期課程）

区 分	試験日	募集人員	出願期間
後期試験入学選考	平成22年 2月19日(金)	3名	平成22年1月25日(月) ～2月5日(金)

※募集人数：前期試験入学選考含む

●中村学園大学大学院 流通科学研究科（修士課程）

区 分	試験日	募集人員	出願期間
第2次試験入学選考	平成22年 2月19日(金)	10名	平成22年1月25日(月) ～2月5日(金)
第2次社会人特別入学選考			平成22年1月6日(水) ～1月15日(金)
外国人留学生特別選考			平成22年1月6日(水) ～1月15日(金)

※募集人数：推薦・第1次試験入学選考含む

●中村学園大学大学院 人間発達学研究科（修士課程）

区 分	試験日	募集人員	出願期間
第2次試験入学選考	平成22年 2月19日(金)	5名	平成22年1月25日(月) ～2月5日(金)
第2次社会人特別入学選考			平成22年1月25日(月) ～2月5日(金)

※募集人数：推薦・第1次試験入学選考含む

●中村学園大学

区 分	試験日	学部・学科	専攻	募集人員	出願期間
大学入試センター試験利用入学試験（後期日程）	①平成22年度大学入試センター試験の成績を基に合否判定を行う。 ②本学の個別学力試験は課さない。	栄養科学部	—	3名	平成22年 2月19日(金) ～ 3月9日(火)
		栄養科学科	—	3名	
		人間発達学部	幼児発達学専攻	2名	
		人間発達学科	児童発達学専攻	3名	
		流通科学部	—	3名	

●中村調理製菓専門学校

区 分	試験日	出願期間
第5回入学試験	平成22年3月7日(日)	平成22年2月22日(月) ～3月3日(水)
第6回入学試験	平成22年3月27日(土)	平成22年3月16日(火) ～3月24日(水)

★1日体験入学：平成22年1月24日(日)、2月20日(土)、3月14日(日)、10：00～14：00

●中村国際ホテル専門学校

区 分	試験日	出願期間
第5回入学試験	平成22年3月7日(日)	平成22年2月22日(月) ～3月3日(水)
第6回入学試験	平成22年3月27日(土)	平成22年3月16日(火) ～3月24日(水)

★1日体験入学：平成22年1月24日(日)、2月20日(土)、3月14日(日)、10：00～13：00

楠名誉教授が 瑞宝中綬章を受章

楠喜久枝名誉教授が、平成21年秋の叙勲において、瑞宝中綬章を受章されました。

瑞宝中綬章は、国家または公共に対し功労があり、公務等に長年従事し、成績を挙げた人に対して授与される褒章です。



プログラム

がん予防のエッセンス

—がんにならないための生活習慣—

総合司会：橋本俊二郎

(中村学園大学短期大学部長)

当番校挨拶：藤本 淳

(中村学園大学学長)

● 第1部

「肺癌と予防」

福岡大学医学部（呼吸器内科学）

教授 渡辺憲太郎

「口腔癌は怖くない

—予防と早期発見のための自己検診—

福岡歯科大学口腔・顎顔面外科学講座

口腔腫瘍学分野教授 大関 悟

「癌にならないために

—食からのアプローチ—

中村学園大学栄養科学部教授・

健康増進センター長 中野 修治

● 第2部

公開討論

司会：吉岡 慶子

(中村学園大学栄養科学部長)

第5回 地下鉄七隈線沿線 3大学合同シンポジウム

平成21年11月7日、本学・西1号館において、第5回地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウムが開催されました。このシンポジウムは、地下鉄七隈線沿線に所在する中村学園大学、福岡大学、福岡歯科大学の3大学の共催で、市民の健康づくりを旨として実施しており、今年度で第5回目の開催を迎えました。当日は、地域の皆さまや各大学の関係者を中心に、たくさんの方の来場者で会場は活気にあふれました。

今年は「がん予防のエッセンス—がんにならないための生活習慣—」というメインテーマのもと、第1部では各大学の講師が

ら、それぞれの専門分野における健康づくりへの提言に

ついて、市民の視座に立ちわかりやすい講演がありました。

第2部では、第1部の講演を受け来場者から提出された質問票をもとに、公開討論が展開されました。講師の見解を求める質問が多数寄せられ、市民の健康に関する意識の高さがうかがえました。



中村学園大学附属吉岐幼稚園 創立30周年記念式典

平成21年11月21日、中村学園大学附属吉岐幼稚園の創立30周年記念式典が行われました。

昭和54年4月に開園した吉岐幼稚園は、創立以来、幼児像「強い子、やさしい子、考える子」を教育目標に掲げ、園児一人ひとりの成長や発達を大切に、きめ細かな対応とそのため体制整備に努めています。

式典には、吉岐幼稚園に縁のある多くのご来賓の方々に出席いただき、ご来賓の皆様のご祝辞や中村量一理事長、久富さよ子園長のあいさつなどが行われました。園児たちも式典に参加し、お祝いのご挨拶や歌、楽器演奏を披露し、晴れやかな式典になりました。





園田恭久氏



大塚誠之氏

大学院流通科学研究科セミナー

平成21年10月23日 本学・西4号館4201教室において、流通科学研究科セミナーを開催しました。

今回のセミナーは、事業承継や事業再生等の分野でご活躍されている大塚誠之様、園田恭久様を講師にお招きし、事業承継の現状と動向について、2部構成でご講演を賜りました。

第1部の大塚誠之様の講演では、事業承継の税に関する法律的判断などについて解説していただきました。事業承継の主要な方法である(1)親族内承継、(2)親族外承継、(3)M&Aについて、留意点や税制、さらに具体的事例に基づいて説明していただきました。

第2部の園田恭久様の講演では、中小企業における事業承継の円滑な進め方について、経営上の問題や課題を整理して解決策を解説していただきました。自らの実体験や支援先企業等での成功事例や失敗事例の紹介、事業承継に関する最新の公的支援施策や支援体制

の紹介、計画的な事業承継の進め方の説明、ファミリービジネスの再評価の潮流の解説などを行っていただきました。世界で創業20年以上の企業が5、586社で、うち3、146社は日本の企業だそうです。

セミナー終了後の懇親会にも多数の方が参加し、各専門分野についての認識を深め合う場となりました。

アジア栄養科学ワークショップ

平成21年12月5日、西1号館10階大講義室において、第18回中村学園大学アジア栄養科学ワークショップが開催されました。

本ワークショップは平成4年より大学院栄養科学研究科の主催にて毎年実施されており、学内の教職員のみならず、学外の研究者や市民の皆様にも多数ご参加いただいています。

本年は「健康増進のための薬膳と食機能科学」をテーマに、左記プログラムの内容で、多彩な先生方をお招きし、各分野から専門的な講演が行われました。会場からは質問も多数出るなど、充実したワークショップとなりました。



Cho, Jung-Soon 教授



小高修司 院長



和田政裕 教授



徳井教孝 准教授



内山文昭 所長



食育推進イベント

平成21年11月25日、農林水産省九州農政事務所による食育推進のイベントが実施されました。西2号館「食育館」入り口に専用ブースを設け、食育推進に関する各種資料の配布や、農林水産省が推進している「食料・農業・農村基本計画」の策定に向けたアンケート調査が行われました。

昼食の時間帯にはたくさんの学生が資料を手に取り、食育や国が進める取組みについての認識を深める機会となりました。



学校法人中村学園の九州大学田島寮跡地落札について

平成21年12月1日、九州大学所有の「田島寮」跡地（同年3月末に閉鎖、福岡市城南区田島）を、学校法人中村学園が落札しました（面積約2万1,500㎡）。中村学園大学・中村学園大学短期大学の第2キャンパスとして使用する予定であり、グラウンド用地として整備を進め、平成22年10月の供用開始を目指しています。

短期大学部 幼児保育学科で入学前教育を開始



専用 Web ページのトップ画面

幼児保育学科では高大連携として学校への出張講義等を行ってききましたが、平成22年度推薦入試から指定校制度を本格的に実施することを契機として、合格した高校生を対象とした入学前教育の体制を整えました。

方法は、Webによる課題の提供・指導と成果の提出、スクーリングによる具体的指導及び郵送による課題の提供です。学習内容の特性によってこれらの3方法を使い分けて、合格者の皆さんが入学後に幼児保育学科の専門教育にスムーズに移行できることを目指しています。第1回ブレ・カレッジ（スクーリング）は、平成21年12月19日の午後に開催しました。その他にも幼児保育学科の様々な情報を動画や文章等で提供します。

幼児保育学科主任 松尾 智則

短期大学部キャリア開発学科「入学予定者ウォーミングアップスクーリング」



今年度、初めての試みとして、入学試験に合格した高校生に対するウォーミングアップスクーリング（12月・3月各1日）を開始しました。これは、試験合格発表後から入学式までの期間に入学予定者が勉学に対するモチベーションを維持し、入学後の大学生活を円滑に行えるような事前学習の機会を設けたものです。

「大学と高校の違い」、「入学前に準備しておくこと」、「学科における学び方」、「履修登録の予備指導」などを大学の教室でやさしく講義します。高校生にとっても期待と不安のこの期間を有効に活用して、スムーズな大学生活のスタートを切っていただきたいとの願いを込めています。

キャリア開発学科主任 清水 誠

昇任・昇格・配置換え人事

（平成21年11月1日付）

教務課課長
教務課課長補佐
総務課課員

赤司 博文（教務課課長補佐）
大川 貴光（教務課係長）
西村 友志（三陽中学校・高校事務室室員）

三陽中学校・高校事務室室員

佐藤 啓介（総務課課員）



教員の出版物

著者は、本学教員のみ記載、（ ）内は出版社、発行年月

「九州観光マスター検定・新版3級」



清水 誠
短期大学部・キャリア開発学科・教授
佐藤鉄太郎
大学・人間発達学部・教授
片山 富弘
大学・流通科学部・教授
朴 麗材
大学・流通科学部・准教授
徐 濤
大学・流通科学部・講師
共著
（福岡商工会議所 平成21年10月）



「タイ事典」

圓入 智仁 共著

短期大学部・幼児保育学科・講師
（めこん 平成21年9月）



「1からの戦略論」

片山 富弘 共著

大学・流通科学部・教授
（中央経済社 平成21年9月）



「企業会計の基礎」

日野 修造 共著

短期大学部・キャリア開発学科・准教授
（中央経済社 平成21年10月）



「英文学の地平 ーテキスト・人間・文化ー」

田多良俊樹 共著

大学・流通科学部・講師
（宮羽書房鶴見書店 平成21年11月）

表彰のお知らせ

福岡県知事表彰(栄養士養成)



林 辰美 准教授

平成21年10月、林辰美准教授(短期大学部食物栄養学科)が、栄養士・管理栄養士養成施設の教員として、栄養士・管理栄養士養成のため永年勤務したことに對して、(社)福岡県栄養士会の推薦を受け、同会主催の平成21年度栄養士大会において表彰を受けました。

全国町村監査委員協議会長賞



藤川 祐輔 准教授

平成21年10月、藤川祐輔准教授(大学流通科学部)が、全国町村監査委員協議会長賞を受賞しました。この表彰は、永年にわたり町村監査委員として職務に精励し、地方自治の振興発展に多大な貢献をされた者に対して贈られるものです。

第11回CLA懇談会優秀発表者賞



古賀 民穂 教授

平成21年10月、古賀民穂教授(短期大学部食物栄養学科)が、佐世保市で開催された第11回CLA懇談会において、研究内容および発表の明快さなどが最も優れていると評価され、優秀発表者賞を受賞しました(研究題目は「共役リノール酸(CLA)強化小麦粉製品について」)。

社団法人全国栄養士養成施設協会会長表彰



今井 克己 教授

平成21年11月、今井克己教授(大学栄養科学部)が、社団法人全国栄養士養成施設協会会長から表彰を受けました。この表彰は、永年にわたり栄養士・管理栄養士養成施設において教育に尽力され、多大な貢献をされた教員に対し贈られるものです。

福岡市感謝状

(福岡市制施行120周年記念)



甲斐 諭 教授



城田 知子 客員教授

平成21年11月、城田知子客員教授と、甲斐諭教授(大学流通科学部)が、福岡市より感謝状を贈られました。この感謝状は、永年にわたり福岡市の農業振興審議会委員として市政の発展のために尽力され、多大な貢献をされた者に対し贈られるものです。

米政府 E-Teacher スカラシップ獲得



津田 晶子 講師

平成21年12月、津田晶子講師(短期大学部・食物栄養学科)が東京の米国外務省教育文化局主催「E-Teacher スカラシッププログラム」に選出されました。ESP(専門英語教育)コースに参加し、世界各地の大学英語教員、教員養成担当の教員、官僚と共に、地域や国レベルの教育や経済の発展に貢献するESPトレーニングのニーズに取り組みます。このプログラムには世界各国の米国外務省から推薦された英語教育のプロフェッショナルのみが参加でき、eラーニングにより最新の英語教育のメソッドやテクニックを学びます。また、参加者には、通常は交流が難しい米国の英語教育界の権威と直接アクセスする機会が提供されます。

研究助成・受託研究等採択状況



三成由美 教授

薬膳を食べて学んでヘルシーライフ

- 受入先 薬膳科学研究所(内山文昭所長)
- 研究代表者 三成 由美 教授(大学・栄養科学部)
- 助成団体 財団法人江頭ホスピタリティ事業振興財団
- 助成金名称 平成21年度研修会等開催事業に対する助成金
- 助成金額 200,000円

健康に寄与する薬膳メニューの開発及びその普及活動

- 受入先 薬膳科学研究所(内山文昭所長)
- 研究代表者 三成 由美 教授(大学・栄養科学部)
- 助成団体 西部ガス株式会社
- 助成金名称 平成21年度研究助成寄付金
- 助成金額 1,700,000円

健康甘酒の開発・販路拡大

- 研究代表者 三成 由美 教授(大学・栄養科学部)
- 共同研究者 ・産業医科大学産業生態科学研究所健康予防食科学研究室 徳井教孝准教授・福岡県食品産業協議会・福岡県生物食品研究所
- 助成団体 農林水産省
- 助成金名称 平成21年度農林水産省食農連携体制強化事業委託研究事業補助金
- 助成金額 4,309,000円

NAKAMURA 春のオープンキャンパス OPEN CAMPUS

春から進路選びをスタート★
きっかけはナカムラで!

2010.3.20
10:00~15:30 [SAT]

予約 不要 入退場 自由 自由見学 OK
※保護者の方も大歓迎です!

ようこそ中村へ★
まずは受付へどうぞ!

模擬授業を体験しよう!

ランチはもろろん学食で♪
「食育館」にGo!

学校生活や入試のことなど
先輩達に何でも聞いてみよう!

PROGRAM

- 模擬授業
- 自由見学
- クラブ・サークル紹介
- 入試・学生生活相談
- 先輩たちとの交流
- ...など

※プログラム内容は、都合により変更になる場合があります。

オープンキャンパスで
自分のやりたいこと、
将来の夢を見つけよう!



中村学園大学 中村学園大学短期大学部

【問い合わせ先】入試課

〒814-0198 福岡市城南区別府5丁目7番1号

Tel.092-851-6762 (入試課直通)

[E-mail] nyushi@nakamura-u.ac.jp

[URL] http://www.nakamura-u.ac.jp/

携帯サイト
N-NAVIもチェック!



■地下鉄七隈線 天神南駅から別府駅まで10分。天神、博多駅から西鉄バスで約20~30分「中村大学前」下車。
■駐車スペースに限りがありますので、公共交通機関のご利用をお願い致します。



広報誌セロリの定期購読について

定期購読をご希望の場合は、購読料（2年分）として郵便小為替1,200円分と、郵便番号・住所・氏名・電話番号を書いた紙片を同封の上、学事課宛にお送りください。なお、広報誌の発行は、年4回（4・7・10・1月）となります。
※保護者の方には毎号送付しています。

【申込み先】

〒814-0198福岡市城南区別府5-7-1

中村学園大学 学事課「広報誌定期購読申込」係